



黎明

同窓会だより れいめい
山形県立鶴岡中央高等学校

第 18 号

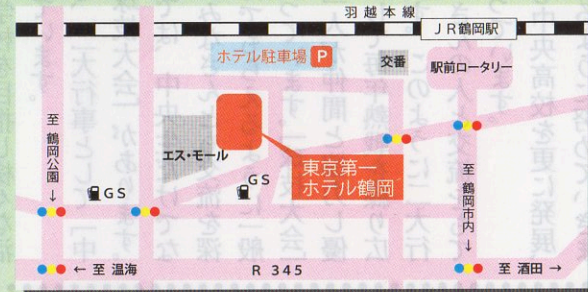
発行
山形県立鶴岡中央高等学校
黎明同窓会
鶴岡市大宝寺字日本国410
0235 (25) 5724

印刷
(有) 杉葉堂印刷
0235 (22) 5538

鶴岡中央
高等学校

黎明同窓会総会のご案内

期 日 2015年8月30日(日) 午後2時
会 場 東京第一ホテル鶴岡 (鶴岡市錦町)
会 費 懇親会参加 4,000円
当日年会費 1,000円 も宜しくお願ひします
申し込み 8月15日まで同窓会事務局へ
ハガキまたはFAX (0235-25-5734)
〒997-0017 鶴岡市大宝寺字日本国410
鶴岡中央高校内 同窓会事務局 宛
TEL 0235-25-5723



◆ 総会当番は 鶴西・鶴家政 = 平成8年3月卒 中央 = 平成17年3月卒 の皆さんです。

2014 中央祭 6月27・28日

クラス・生徒会・系列・部活動…。どの企画も素晴らしく、一人ひとりが主役となってキラキラと輝いた2日間でした。中央祭でLINKしたたくさんの人とのつながりをこれからも大切にしていきたいですね！



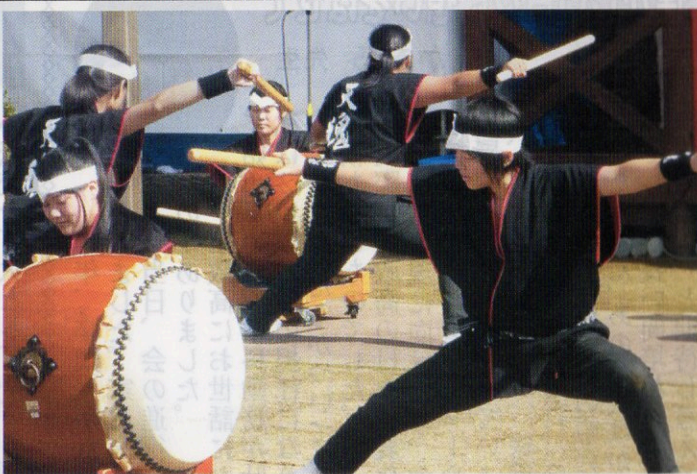
ダンスはどのクラスも素敵でした

今年の中央祭ではLINKをテーマに多くの方々繋がることのできた。これは生徒会執行部だけでなく、先輩方やPTAの皆様、生徒会の要望を叶えてくださった先生方、そして、我々の急な変更等を快く受け入れて下さった全校

感謝を胸に終えた中央祭
今年中央祭実行委員長
3年5組
佐々木翔太郎



総合文化祭賞受賞 天魄太鼓部



黎明同窓会員の皆様、初めまして富樫と申します。昨年八月末の総会に於いて、坂善彦前会長より会長のバトンを渡され、重責と不安を一杯抱えながら就任致しました。同窓会役員は、鶴岡家政高校卒業以来続けて参りましたが、この様な大任は初めてです。皆様のご協力とご理解をお願い致します。さて、寒さがまだ残る三月一日に二百七十一名が卒業され新会員となりました。初めて参加した卒業式では、真っ直ぐに成長された姿を見て、本人の努力が勿論、家族や教職員皆様の温かく時には厳しい教えがあった賜と感じました。全員が新たな道へと目を輝かせ、夢と希望を持って進むべき目標に向かって頑張っていることと思います。

同窓会への思いは、一人一人違うと思いますが、母校を思う気持ちは皆同じではないのかと感じています。今は、仕事や家庭が忙しく中々関わりが持てないという年代もありますが、是非一歩踏み出して見て下さい。在校生の活躍や学校の取り組みなど、更には、日進月歩進化している教育のあり方を知ることが出来、社会が必要としている人材を多く排出し、社会貢献に大きく寄与している事がわかります。

同窓会会報十八号を発行するに当たり、皆様から快く寄稿をして頂きありがとうございます。今号からサイズも変更し、より読みやすい様にしてみました。お手元に届いた会報で母校の様子を見て頂きたいと思ひます。会報は、会員の親睦を深める絆ともなる貴重なものです。新会長として、学校の内容などまだ詳しい事は解らない状態です。今後、学校行事や後援会活動に参加して行きながら理解を深め、皆様と情報を共有したいと考えています。

最後に、会員皆様のご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。



会長の挨拶

富樫 洋子



かき氷いかがですか

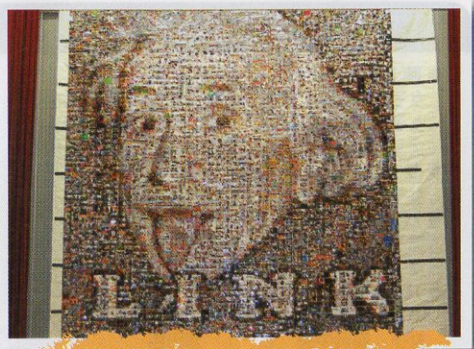
生徒の皆さんのおかげだと思ひます。今回の中央祭はモザイクアートを始め、全校生徒が一つになれるような運営を心掛けました。また、アンケートを実施し、生徒からの要望の強かった、クラス企画での現金販売を実現できたことも大きな成果だったと思ひます。

最後に、この中央祭で何か一つでも皆さんの心の中に残すことができた光栄です。ご協力頂いた皆さん、本当にありがとうございました。

編集後記
木々の緑が日に日に色濃くなり、さわやかな季節を肌で感じられるようになりました。

しかし、今年は異常気象なのでしようか。火山活動が活発になり、爆発、噴火が起きたり、島が隆起し拡大したり自然のエネルギーの破壊力には恐ろしくなります。早く穏やかな自然になりますように願ひたいと思ひますし、改めて庄内の環境の良さに感謝したいと思ひます。

同窓会だよりにご協力、ご寄稿下さいました皆様方に心より感謝申し上げます。
小鷹 記



みんなの写真でできたモザイクアート



「黎明」に寄せて

校長 伊藤 吉樹

四月から県立鶴岡中央高校校長として着任いたしました。これからの時代は、同窓生や地域・保護者の皆様との連携・協力を大切にしながら、教育活動を進めていくことがこれまで以上に、一層必要であると考えております。同窓生の皆様には、ご支援の程よろしくお願いいたします。

本校も県や鶴岡市民の皆様からの大きな期待を受け創立から十七年の歴史を刻んできました。人間でいえば、まさに高校生のエネルギーに満ちあふれた時期になったといえます。

本校の正面には、「今輝ける大志を求めて」立志・気づき(自主自立)・共生」という本校のスローガンが掲げられています。高校生の時代に「志」を立て、目標に向かって力の限り頑張ること、自身の行動を振

り取り改善すべき点を考えると同時に周囲の人への気遣いを身につけること、今の自分があるのは家族や地域の方々の支えがあつてこそであり、高校三年間のうちにふるさと庄内のすばらしさを再確認することを期待したスローガンだと考えています。

山・川・海、四季折々の大自然、おいしい食べ物、豊かで温かい人情・この様な環境で育った人間の感性は本物のはずです。

何気ない高校生活の一分一秒が、何物にも代え難い貴重な時間であることを意識し、悔いを残さない、充実した人生のひとつを、この鶴岡中央高校で創ってほしいと願うと同時に、グローバルな視点で物事を考え、ローカルに活動するその様な生徒を育成していきたいと考えております。



鶴西最後の三年間 五十嵐栄一 先生

母校の鶴岡西高校には平成七年度から閉校までの三年間お世話になりました。今振り返ると、鶴西に赴任した時は、鶴岡家政高校との新高校(現鶴岡中央高校)への合併統合が決まり、そのための準備が本格的に始まった年であるように思われます。全職員が大学進学のできる学校、多様な学びができる学校を目指し、教育計画や学校組織づくり、さらには種々の教室等の基本設計などに取り組みしました。両校合同の会議や研修会を開き、相互の理解と協力の下、開校への準備を進めました。新高校は総合学科や単位制などを取り入れた新しいタイプの高校を創るということで、先がよく見通せないことがあつて不安はありましたが、新高校への大きな期待を胸に担当した仕事に邁進できたことは貴重な経験となりました。



懐かしい日々を想ひをばせて 備前かをる 先生

昨年、卒業生からのお誘いを受け同窓会総会・懇親会に参加させていただきました。家政高で担任をした生徒たちが卒業後二十年を迎えるのとこの日、会の進行やあいさつを堂々と賢明に務めている姿に感慨深いものがありました。

総会に参加して

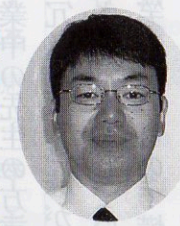
仲間との繋がり



平成7年 家政高 卒業 本間 宮子

「同窓会」という言葉が年月を重ねるたびに、仲間との繋がりを強く感じる言葉となつていく。卒業して二十年。今回、幹事の連絡を受けるまであまり意識をする事がなかった。

卒業してからの二十年は、私自身の中で、もっとも多くの人達と出会う事ができた「出逢い」の日々だったように思う。看護師として多くの患者さんからかけていただいた温かい言葉。相手の気持ちを感じとる心。また、母となり自分より大切と感じる親心。そして、親への感謝。高校時代は、同じ医療の道を目指し勉強した仲間が多く、現在も思いを共有し互いの親をも労りながら繋がっている。



平成7年 西高 卒業 齋藤 和明

時が経つても...

縁あつて同窓会幹事を引き受けることとなり、連絡先を確認するため、卒業アルバムを久々に開きました。若い自分の写真をみて、大分老けたと改めて感じました。

よくよく考えてみると、卒業時の年齢から倍以上になつてきているもの、当日会つてみるとお互いブラン



クを感じさせず、過去にタイムスリップした感覚になり、参加したことでのリフレッシュできたような気がします。

私達が高校時代にはなかったフェイスブック等のツールで連絡を取り合っている方もいるかと思いますが、やはり皆で集まってお酒を酌み交わしながら語り合う機会というものは必要である、今回参加して強く思った次第です。

この度の同窓会開催にあたりまして、事務局の皆様には感謝申し上げます。同窓会には、黎明同窓会並びに会員様方のますますのご健勝ご多幸を、心よりお祈り申し上げます。



変わらない仲間達



平成7年 家政高 卒業 佐藤 裕子

先日、第一インホテル鶴岡にて開催された黎明同窓会の開催を心よりお喜び申し上げます。

私は、この度当番幹事として出席させていただきました。鶴岡家政高等学校を卒業してからもう二十年余りが過ぎましたが、久しぶりにお会いする同級生達はその時間を感せず、ついこの間まで一緒だったように学生時代と変わりにない楽しい時間を過ごすことが出来ました。

当時と全くと言っていい程変わりのない同級生とほんのわずかな時間でしたがお話しする時間が持つ懐かしさで胸がいっぱいになりました。

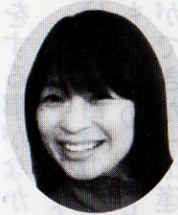
私は普通科で別棟で学校生活を送りましたが、のんびりとした雰囲気の中

で毎日の学校が本当に楽しかった様に思います。自転車での通学は家が遠かったのが、夏の暑い日、冬の雪の日などは本当に大変でしたが一時間程かけて通ったことが思い出されます。



卒業生の思い出

大切なこと



昭和55年西高卒
佐藤 幸美

西高の二年生に千葉県から転入学した私の思い出は何といっても、楽しい生徒会活動です。知っている人が誰一人いない中、生徒会には違うクラスの人や上級生、下級生がいて皆、昔から知り合いだったように仲良くしてくれました。そこから、友達の輪が一気に広がる、今でも仲良くしてくられる友達に恵まれました。生徒会室で何の活動をしていたかは、思い出せませんがワクワク・ドキドキの楽しい会話をしたことだけが思い出されます。

良き思い出は心の宝



昭和58年家政高卒
百瀬 裕美

皆さん、いかがお過ごしですか。

何かで見たCMのように『かつてはオトメ(乙女)今ではフトメ(太め)』に変貌を遂げている私です。久しぶりに卒業アルバムを開きページを捲ると、聖子ちゃんカットの友や、笑顔の先生と再会できたように懐かしさを覚えました。

私達は、昭八先生、槻山先生、伊藤博先生、尼子先生、大槻先生の豪華担任団で、どのクラスも才色兼備揃いだっただと思います(??) 当時の私は、真新しい如蘭会館で茶道の佐び寂びを学び、新体育館に出来たピロティでは、ピチピチの短パンを履き部活に励みました。七号線を越えて行く共同グラウンドでの授業は、校

28年



昭和62年西高卒
後平 恵一

楽しい思い出の裏には、ちよっぴり辛い思い出もありました。転入学当初、授業中の先生の方言交じりの冗談話の意味が分からずキョトンとしていたり皆が笑っているのが慌てて作り笑いをしたこと。方言を早く覚えようと自宅で無理に方言を使い会話をしている私に父は「無理しなくてもいいよ」と言い、こたつの中で丸くなり泣いたこと。今では誰より方言を使っている私ですけど・・・。高校を卒業し社会人として仲良くなった友達とともに西高に通学した二年間で幼馴染としての大切な友達を得ることが出来ました。

現在、私は障害児者の相談業務をしています。最近特に思うことは、人は誰も孤立せず、つながり合うことが大切ということだと思います。

舎敷地内からの脱出という開放感で、胸を躍らせたものです。

各地で学校統廃合や高校の再編整備などが進められている昨今です。私の小・中・高校も全ての母校が統廃合しました。私にとって、この学舎で出会えた師と友との経験は、「良き思い出」であり、生涯「心の宝」になります。

支え合う仲間



平成27年中央高卒
飯野 凧紗

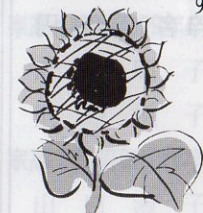
まだ卒業して数か月しか経っていないのに、高校時代がとても懐かしく感じます。

卒業して思うことは、毎日が本当に充実していて楽しかったということだと思います。毎日顔を合わせ、何気ない会話をし、みんなで笑い合う、そんな当たり前だ

と想像していた生活も今では楽しかった思い出の一つです。

中央祭や球技大会、友達との何気ない会話、楽しかった思い出はたくさんありますが、私にとって一番の思い出は部活動です。辛くても苦しくても、みんなで支え合いながら乗り越えてきた仲間は今でも大切な存在です。また、部活動では多くのことを学び、考えることができ、今の新しい環境での生活でも生かすことができていると思います。

毎日会うのが当たり前だった友達も今はみんなバラバラになりそれぞれ勉強に仕事に頑張っていると思います。そのみんなと十年後の同窓会で会えるのがとても楽しみです。大人になつたみんなに会えるのを楽しみに、これからの社会人生活を頑張っていきたいと思えます。



おりまして。そして後悔し、悩み落ち込み、暗い日々も過しました。

そんな思い出からですが後悔し、反省して、ほんの少しは成長できたのではないかと思います。他の人よりも成長するのが遅い私ではありますが今は「クリーニング屋さんでいい」という店を営んでおります。「誰かが必要とするより、自分が必要とされる人になれ。」なんて感じて働いていられるのは、高校時代の恥ずかしい思い出からつながっているのでしょうかね!?

私の音霊



昭和49年家政高卒
菅原とり子

人生に潤いを与えるものといえば音楽もそのひとつであろう。歌であれ、BGMであれ、メロディーはいつでも近くにあるからであ

ありがとう



平成27年中央高卒
本間 大輝

今年の春に中央高校を卒業しました。入学から卒業までの三年間はとても早く、毎日の何気ない生活が懐かしく感じます。

中央高校での思い出はたくさんあります。卒業式では中央高校初(?)の卒業生合唱をさせていただき、感謝の気持ちを伝えると共に最後に学年でひとつのものを創ることができました。あの時言えなかったのでこの場をかりて言わせてもらいます。最高の合唱だったよ! ありがとう!! これですっきりしました。

また、部活動では体力や技術だけでなく礼儀やあきらめない気持ちも培ってききました。大学生活でも生かすことができている。就職して社会に出た後も続け

る。在学中、私は音楽部においてマンドリンを担当、その音色に魅了され熱中していた。発表に向けたマンドリン第1、第2、マンドラ、ギターなど各パートでの練習や全体練習、そのどれもが充実した部活の時間であった。時々、合唱部に参加した時間も同様である。当時合唱部と合同で「第一回定期演奏会」を開催する事ができたのは、ご指導くださった伊比先生をはじめ多くの皆様のおかげと感謝すると同時に、新しい事を始める実践の場となったのだと思う。

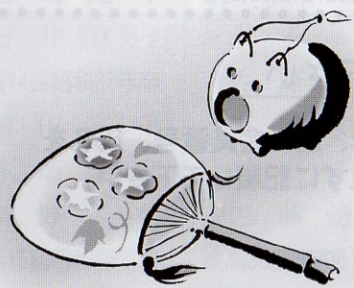
近年叙情歌が見直され自分も触れたところ時の流れに左右される事なく、より深く心にしみ入る音霊を感じたのである。

これからも、発しても聴いても感動できる音楽を、仲間と共に感じつつ心の音霊にして持ち続けていきたい。

ていきます。

大学生活では新たな発見や新しい友人と出会い充実した日々を送っています。そして、私の大学には中央高校出身の学生がいます。思い出話をすると止まりません。他校出身の学生に自慢してしまうほどです。中央高校での思い出を糧にこれからも頑張ります。

高校の三年間はあっという間です。高校生でしかできないことにどんどんチャレンジして、誰かに自慢できるような思い出をたくさんつくってください! きっと一生の宝物になるはずですよ。



平成26年度 会費納入者芳名簿

旧如蘭支部	小林 弘子 佐藤 幸子 本12回昭和11年卒 工藤 喜美子 本20回昭和19年卒 佐藤 景子 四高1回昭和24年卒 小池 幸子 二高3回昭和25年卒 阿部 春子 四高2回昭和25年卒 田卷 和子 佐藤 文 五十嵐 晴美 家高3回昭和26年卒 柴田 重子 小野寺 才 菅原 豊美 家高4回昭和27年卒 城井 みさ子 家高6回昭和29年卒 斎藤 昭子 笹原 悦子 家高7回昭和30年卒 山口 淑子 家高10回昭和33年卒 小野田 文子 家高12回昭和35年卒 井上 節子 斎藤 宣子 黒崎 幹子 上野 米子 草野 恵子 石川 幸 工藤 宣子 家高13回昭和36年卒 尾崎 光子 石井 喜美子 家高14回昭和37年卒 畑田 トシ子 佐藤 美和 高野 俊 家高15回昭和38年卒 佐藤 よし子	三武 恵 家高44回平成4年卒 原田 裕美 家高46回平成6年卒 五十嵐 美和 家高47回平成7年卒 渡部 知穂 石川 由香里 岡部 麻依子 岩浪 千草 渋谷 志津 五十嵐 麻美 菅 美幸 本間 百合 佐藤 裕子 高山 直美 佐藤 幸 佐藤 春奈 本間 宮子 茂木 奈歩 金澤 寿子 佐藤 百合 菅原 真弓 阿部 由美子 竹本 美香子 藤田 桐子 本間 恵 野坂 美穂 石橋 陽子 丸藤 真子 石橋 潤子 吉田 みゆき 岸田 真弓 長谷川 真規子 山本 千鶴 家高48回平成8年卒 布川 彩 本間 久美子 鈴木 恵 斎藤 初美 家高33回昭和56年卒 小山田 真生 匿名希望 1名 家高36回昭和59年卒 小玉 節 佐藤 真由美 阿部 美規 丸山 千賀 佐藤 逸子 家高38回昭和61年卒 佐藤 まゆみ	旧西高	松下 美知子 上林 静夫 菅原 芳信 高嶋 恵 半澤 正昭 石川 富代女 村瀬 友美子 長嶋 勇三 西44年卒 佐々木 成 山口 栄一 本間 才子 西45年卒 神林 秀充 板垣 富夫 大滝 雅善 菅原 幸太郎 宮崎 喜久美 菅原 眞一 西46年卒 斎藤 仁幸 山口 清二 菅井 政志 上林 幸 板垣 温子 成田 光雄 渡部 耕二 匿名希望 1名 西47年卒 土井 三紀 西48年卒 坂 善彦 丸市 明子 西49年卒 田中 俊彦 阿部 淳 菅原 善一 白幡 啓 丸山 隆逸 伊藤 正男 叶野 重典 山本 洋子 三浦 栄子 西43年卒 岡田 茂	西50年卒 須藤 立 西51年卒 原 敏 西52年卒 村田 行正 西55年卒 小野 勇太 佐藤 和宏 菅原 充 西56年卒 工藤 妙 長澤 浩行 保科 美幸 西57年卒 柳澤 一弥 本間 美加 西59年卒 鈴木 聡 西60年卒 松田 美栄 榎本 陽一 白幡 静夫 滝島 真佐子 西61年卒 黒崎 浩矢 奥泉 公志 佐藤 徹 西63年卒 加藤 政志 西平成6年卒 井上 和歌奈 西平成7年卒 石井 清則 阿部 浩昌 三浦 伸公 本間 貴 水口 満 三浦 洋 斎藤 寛伸 斎藤 久美子 田中 ゆかり 斎藤 貴志 佐々木 舞
--------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

大井 薫 藪田 朋子 本間 美穂 石田 亮 齋藤 志穂 中鉢 系 渡部 恵 齋藤 和明 本間 友恵 吉田 直樹 茂木 尚美 設楽 和人 梅津 一生 後藤 慎治 西平成8年卒 高嶋 美菜子 西平成9年卒 佐藤 亜伊子 小泉 亜紀	中央平成15年卒 石黒 誉久 中央平成16年卒 難波 謙 岡部 渚 小池 綾子 小関 和雅 渡辺 美瑠 伊藤 京介 佐渡 佑典 日下部 紘子 中央平成17年卒 渡部 勇太 中央平成21年卒 田中 翔太郎 佐藤 叶望 富樫 理絵 荒川 弘毅 工藤 康 伊藤 拓翔 川越 美樹 中央平成11年卒 日向 牧子 佐藤 正堂 高橋 勇一 中央平成12年卒 大滝 由佳 中央平成13年卒 佐藤 若葉 中央平成14年卒 渡部 聡 工藤 友暁 大井 直人 匿名希望 1名	中央平成22年卒 小関 瞳 原 崇之 中央平成23年卒 荒川 敏行 中央平成24年卒 保科 幸一 須藤 晴紀 板倉 滉 中央平成26年卒 星川 桃子 近藤 真由美 丸山 可南子
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

平成26年3月卒業生
266名全員納入

寄付者芳名簿

旧如蘭支部	阿部 源二 9,000円 五十嵐一利 5,000円 本間 等 1,000円 松浦 繁子 1,000円 里 義信 1,000円 上林 静夫 1,000円 菅原 芳信 2,000円 半澤 正昭 5,000円 長嶋 勇三 1,000円 佐々木 成 2,000円 一人静 4,000円 成田 光雄 2,000円 坂 善彦 10,000円 丸市 明子 9,000円 田中 俊彦 3,000円 丸山 隆逸 3,000円 叶野 重典 2,000円 山本 洋子 10,000円 村田 行正 1,000円 滝島真佐子 1,000円	現職員	板倉 滉 1,000円 星川 桃子 1,000円 齋藤 知見 1,000円 阿部 博行 1,000円 高橋 俊昭 1,000円 松木 正和 1,000円 菅原 直香 1,000円 菅原 律 1,000円 菅沢 美鈴 1,000円 田中 芳昭 1,000円 備前かをる 1,000円 北林 久樹 1,000円 鈴木 勝郎 2,000円 加藤 憲一 1,000円 三浦喜和男 1,000円 斎藤 みゑ 2,000円 匿名希望1名 1,000円
中央高校	日向 牧子 1,000円 高橋 勇一 1,000円 工藤 友暁 1,000円 渡部 聡 2,000円 大井 直人 1,000円 富樫 理絵 1,000円 伊藤 拓翔 1,000円 小関 瞳 1,000円		



— ありがとうございます —

姓・住所など変更のあった時は是非下記までお知らせ下さい。
〒997-0017 山形県鶴岡市大宝寺字日本国 410
鶴岡中央高等学校黎明同窓会事務局 宛
TEL 0235-25-5723
TAX 0235-25-5733
★卒年、組、会員番号、氏名を
忘れずに記載して下さい。

学校PR



鶴岡中央高等学校 生徒会長 田澤 飛十

山形県立鶴岡中央高等学校 生徒会長の田澤飛十です。中央高校の普通科は、大学などへの進学を目標に、総合学科は専門性のある学習を生かした進路選択を目標に、日々の勉強に励んでいます。生徒会では、スローガン「昇翔」のもと生徒一人一人がどこまでも成長し続けることができる学校を目指し様々な活動を行っています。

他にも、「一大行事として「中央祭」「球技大会」があります。「中央祭」では、中央生だけでなく地域のみなさんとも交流を深め楽しんでもらえるように「一般公開も行っています」。「球技大会」では一人一人が仲間と協力し優勝を目指して毎年熱戦を繰り広げています。このように「一大行事はたくさんの人と交流をもてる場となっています」。

私達は三泊四日の修学旅行で関西に行きました。奈良公園や薬師寺など、なかなか行く機会がない場所を見学することができて、とても良い経験になりました。私が特に印象に残っているのは、三日目の進路別研修で大阪企業家ミュージアムを見学したこと。そこでは、自分が叶えたいことを叶えるためには、何度失敗しても諦めない心の強さが必要だということを学ぶことができました。今回の修学旅行で学び、吸収したことを今後の生活に活かしていきたいです。



2年3組 辻 菜々子

二年次修学旅行



今年の球技大会は昨年までに比べ、ルールが厳しくなったりと皆さんの納得のいかない事が多い所からのスタートだったと思います。しかし全クラスが違反なく出場する事が出来たのは皆さんのおかげです。正々堂々とプレーする姿や仲間を応援する姿はとても輝いていたと思います。二日目は天気も心配されましたが、リレーを含め全競技実施できて良かったと思います。球技大会を成功させることができたのは、準備から頑張ってくれた体育委員の皆さんや支えてくれた先生方、そして問題もありませんでしたが、理解し最高のプレーをして盛り上げてくれた生徒の皆さんのおかげだと思います。最高の球技大会を創り上げて下さりありがとうございます。



体育委員長 3年5組 土田 美咲

球技大会を終えて



郷土芸能部門 天魄太鼓部 総合文化祭賞(第一席)受賞 来年度全国高等学校総合文化祭出場(滋賀びわこ総合文化祭)

十月十日(金)～十二日(日)に第三十八回山形県高等学校総合文化祭田川大会が開催されました。開会行事等全体進行を本校生徒が担当し、地区の生徒を代表して本校生徒会長が歓迎のあいさつをしました。展示やステージ部門では美術・華道・書道・茶道・合唱・天魄太鼓部が参加し、日ごろの活動の成果を発表しました。

天魄太鼓部は郷土芸能部門で、見事な演奏を披露し総合文化祭賞を受賞しました。

来年度滋賀県で開催される全国高等学校総合文化祭に出場します。



平成26年度 一般会計決算書

自 平成26年6月1日
至 平成27年5月31日

[収入の部] (単位 円)

項目	予算額	決算額	増減(Δ)	備考
1 入会金	1,330,000	1,330,000	0	平成26.3卒 266名×5千円
2 年会費	466,000	513,000	47,000	平成26.3卒 26.6万円 平成26年度 24.5万円
3 寄付金	100,000	159,000	59,000	
4 繰越金	620,088	620,088	0	
5 雑収入	912	236	Δ 676	利息
合計	2,517,000	2,622,324	105,324	

[支出の部] (単位 円)

項目	予算額	決算額	増減(Δ)	備考
1 運営費	1,367,000	1,058,321	Δ 308,679	
(1) 事務費	232,000	211,664	Δ 20,336	名簿更新・宛名出力 13.5万円 封筒・振込用紙代 7万円 事務用品 0.5万円
(2) 事務委託費	390,000	382,836	Δ 7,164	団費職員賃金
(3) 備品費	10,000	0	Δ 10,000	
(4) 通信費	130,000	134,108	4,108	ハガキ・切手代
(5) 会議費	440,000	168,003	Δ 271,997	総会関係 14万円 各種役員会等 3万円 関東支部出席 2.3万円×3名 3.3万円×2名
(6) 旅費	135,000	135,000	0	学校2名 同窓会3名 交通費(鶴岡～東京都内)23万円×5名 参加費1万円×2名
(7) 雑費	30,000	26,710	Δ 3,290	入会式生花 1.5万円 ゆうちょ銀行払込料金等 1万円
2 事業費	1,110,000	1,020,804	Δ 89,196	
(1) 会報発行費	780,000	718,090	Δ 61,910	印刷 32万円 会報配送料 37万円 会報封筒詰め謝礼 3万円 卒業記念品(証書ホルダー) 平成27.3卒 271名×585円 (消費税抜)
(2) 卒業記念品費	174,000	171,757	Δ 2,243	
(3) 後援会補助金	100,000	100,000	0	鶴岡中央高校教育後援会
(4) 同窓会贈祝金	20,000	0	Δ 20,000	
(5) 慶弔費	6,000	3,957	Δ 2,043	慶弔電報等
(6) 広報費	30,000	27,000	Δ 3,000	総会案内広告費
3 基金積立金	0	0	0	
4 雑費	25,000	32,550	7,550	関東支部開催祝金等 1.5万 卒業生を祝う会費5千5百円 役員退任の方へ感謝状等 1万
5 予備費	15,000	0	Δ 15,000	
合計	2,517,000	2,111,675	Δ 405,325	

収入 2,622,324円 - 支出 2,111,675円 = 差引き残金 510,649円 次年度へ繰越

平成26年度 各特別会計決算書

自 平成26年6月1日
至 平成27年5月31日

1 基金積立金特別会計決算書 (単位 円)

[収入の部]

収入項目	予算額	決算額	増減(Δ)	備考
1 繰越金	1,631,743	1,631,743	0	積立金残金
2 積立金	0	0	0	
3 雑収入	257	261	4	預金利息等
合計	1,632,000	1,632,004	4	

[支出の部] (単位 円)

支出項目	予算額	決算額	増減(Δ)	備考
			0	
合計	0	0	0	

収入 1,632,004円 - 支出 0円 = 差引残金 1,632,004円 次年度へ繰越
記録 ※ 平成26年度 10周年記念事業協賛金 100万円の内 786,000円支出

2 環境緑化・施設整備協力金特別会計決算書 (単位 円)

[収入の部]

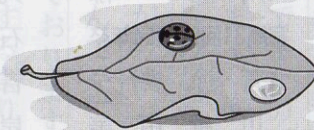
収入項目	予算額	決算額	増減(Δ)	備考
1 繰越金	1,786,606	1,786,606	0	協力金残金
2 協力金	275,000	271,000	Δ 4,000	平成27年3月の卒業生 271名×1,000円
3 寄附金	0	0	0	篤志家等寄附金
4 雑収入	394	284	Δ 110	預金利息
合計	2,062,000	2,057,890	Δ 4,110	

[支出の部] (単位 円)

支出項目	予算額	決算額	増減(Δ)	備考
			0	
合計	0	0	0	

収入 2,057,890円 - 支出 0円 = 差引残金 2,057,890円 次年度へ繰越
※協力金は平成18年3月卒業生より一人千円加入していただいております。

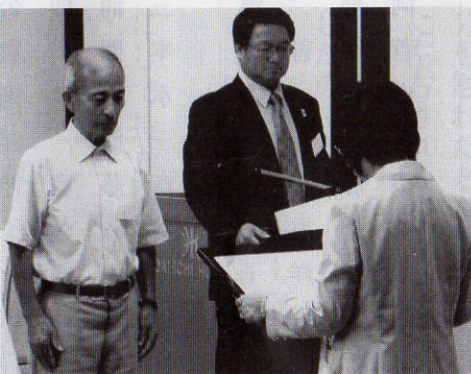
記録 ※ 平成20年度 サッカーグラウンド整備に100万円支出
※ 平成22年度 学校へ絵画贈呈時の運搬費等に124,884円支出



表彰式

ありがとうございました

昨年の総会の席で、二期に渡り、同窓会長を務めていただきました。坂善彦氏、創立当初から、会計監事を務めていただきました。佐藤憲二氏に、新同窓会長の富樫洋子氏より、感謝状とお礼の品が贈られました。ご両名は鶴岡西高等学校時代から、同総会役員として長期に渡り、会の発展の為に多大なるご尽力をいただきました。今後、役職を退かれましたも、変わらぬご支援を宜しくお願い致します。



県高校総体 大会結果

- ◆陸上競技
女子走幅跳 鈴木 美菜 4位 (東北大会出場)
女子七種競技 阿毛 清夏 4位 (東北大会出場)
女子100mH 鈴木 美菜 5位 (東北大会出場)
- ◆サッカー
女子 鶴岡中央 1-0 山形西 3位
- ◆バスケットボール
男子 鶴岡中央 80-56 寒河江工業
女子 鶴岡中央 90-77 九里学園
- ◆バレーボール
男子 鶴岡中央 2-1 上山明新館
女子 鶴岡中央 2-1 酒田西
- ◆バドミントン
男子団体 鶴岡中央 1-3 米沢工業
女子団体 鶴岡中央 3-0 新庄北最上
0-3 山形西
- ◆ソフトテニス
男子団体 鶴岡中央 1-2 酒田光陵
女子団体 鶴岡中央 0-3 山形北
- ◆ソフトボール
女子 鶴岡中央 5-0 谷地
- ◆卓球
女子学校対抗 鶴岡中央 3-1 新庄神室
- ◆アーチェリー
女子団体 3位 (東北大会出場)
鷹濱・佐藤・菅原
- ◆新体操
体操競技個人総合 内田菜緒子 22位
体操競技個人総合 清野 実子 20位
- ◆柔道
男子団体 鶴岡中央 4-1 真室川・新庄神室
- ◆剣道
男子団体
予選リーグJ組 鶴岡中央2位
北村山・山形東
- ◆弓道
女子団体 鶴岡中央 60射29中(ベスト8)